

「ものづくりのパートナー」として多岐にわたる工業用砥石を提供

株式会社大和製砥所 やまとせいとしょ 奈良県香芝市

あらゆる工業製品の仕上げや金型の調整において必ず研磨という作業が発生するが、それに不可欠な道具である「砥石」を製造する奈良県唯一のメーカーが『株式会社大和製砥所』だ。

同社は代表取締役社長・布施治男氏（73歳）の父が1938年に創業し、51年に法人化。創業以来工業用砥石の製造に特化し、「チェリー」ブランドの名でも全国的に知られている。

オーダーメイドでの多品種小ロット生産も多く手掛けており、非常に幅広く充実した品揃えとアイテム数は業界トップレベルだという。



油砥石（左上）、ホーニング砥石（右上）、超仕上砥石（下）



同社が大きな全国シェアを占める商品としては、まず「油砥石」（全国シェア8割）が挙げられる。これは油を染み込ませて使う手作業用の砥石の総称で、全国の工場でバリ取りや面取り用に用いられているオーソドックスな工業用砥石だ。

「ホーニング砥石」（全国シェア4割）は、シリンダーやパイプなどの円筒の内部を研磨するのに用いられ、大手造船所にも船のエンジンのシリンダー内部研磨用として納入している。

「超仕上砥石」（全国シェア3割）は、ベアリングやシャフトなど激しい摩耗にさらされる部品の摩耗面を極限まで研磨する最終仕上げに用いる

もので、高精度な同社製品への信頼は厚い。

これらの商品のユーザーは自動車、家電、半導体、ソーラーパネル、ベアリングなど多岐にわたる各種製造業で、各社からそれぞれ個別の課題やニーズをヒアリングしながら最適な砥石を選定して加工法まで指導する、コンサルティング型の丁寧でスピーディーな営業を心掛けている。

こうしたきめ細やかな対応や、安定した高品質、短納期を厳守することなどへの地道な取り組みが、現在の同社の高い全国シェアと評価に結実した。



同社全景。ユーザーニーズに応じた多様な砥石を製造するために多くの生産設備を有する。

今後の成長や高付加価値が見込める電気自動車、飛行機などの分野でも、モーターや機械部品やベアリングなどの小型化が要求され、細密加工用砥石への需要が高まることが予想される。同社では半導体ウエハー研磨用の100分の1mmの精度を実現できる「極薄精密切断砥石」などもラインナップしており、細密化への対応を進めている。

これからもこうした高い技術力をアピールしてシェアをさらに伸ばし、「ものづくりのパートナー」として、成長する産業用途向けにいち早く製品を提供していきたいという。

（吉村謙一）



株式会社大和製砥所

〒639-0245 奈良県香芝市畑5-1613
TEL: 0745-77-2955 FAX: 0745-78-0667
URL: <http://www.yamatoseito.co.jp>